



とっぱずれ



銚子東ロータリー・クラブ Weekly Bulletin NO. 1803



1/25 (日) 富士山麓 (提供: 川津光雄 広報・会報委員長)

第1803回 例会 平成21年2月3日

点 鐘 … 網中 吉郎 会長

国 歌 … 君 が 代

ロータリーソング … 奉 仕 の 理 想

来訪ロータリアン紹介

… 親睦活動・家族委員会

会 長 挨 拶 … 網中 吉郎 会長

御 祝 披 露 … 網中 吉郎 会長

誕 生 祝 … 網中 吉郎 会員(1月29日)

狩野 勉 会員(2月1日)

結 婚 記 念 日 … 美呂津太兵衛会員(1月28日)

入 会 記 念 日 … 石上 明宏 会員(1月29日)

幹 事 報 告 … 石井 哲也 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

卓 話

「我が国の財政及び税制について」

銚子税務署 署長 小磯 吉雄 氏

出 席 報 告 … 出 席 委 員 会

来週のプロプログラム(平成21年2月10日)

卓 話

「年男の挨拶～本年の抱負～」

和田 誠 会員

お食事処「ミヤタ」



Make Dreams Real 夢をかたちに

2008～2009年度 RI 会長 李 東建 (D. K. Lee)



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) **真実**かどうか
- 2) みんなに**公平**か
- 3) **好意**と**友情**を深めるか
- 4) みんなの**ためになる**かどうか

1802 回例会 (平成 21 年 1 月 27 日)

会長挨拶

網中 吉郎

先週の合同例会は千葉科学大学の留学生の方に卓話をして頂いたことに因み、明治初期にアメリカに留学した山川健次郎の話をさせて頂きました。その健次郎には捨松という妹がいて、当時 12 歳の捨松も健次郎と同時期にアメリカに留学をしています。北海道開拓使次官黒田清隆の発案によるアメリカ留学は、男子だけでなく女子もその対象として考えていました。男尊女卑の当時としては画期的な発想でした。しかし留学期間が 10 年という長期にわたるため女子の希望者はなく、ご破算になるところだったのですが、長兄の山川浩が母の反対を押して妹を応募させたのです。

山川浩は 21 歳の時、幕府外国奉行小出大和守に随員として、ヨーロッパ経由でロシアに渡り先進地の視察をしてきたという経歴を持っており、その時受けたカルチャーショックを一人でも多くの斗南藩子弟に体験させ、国家に役立つ人物を育てたいと考えていたからです。

彼女の幼名は咲子といい、「お前を捨てたつもりでアメリカにやるが、立派に学問を修めて帰る日を待っている」という母の想いから「捨松」という名前に改名されたものです。捨松は名門のヴァッサー女子大学に入り 10 年間勉学に励み優秀な成績で卒業し、卒業式では素晴らしい英語でのスピーチをして喝采されたそうです。この時のスピーチの様子が明治 15 年 7 月の「朝日新聞」に「山川捨松・米國大学を卒業・卒業演説大評判」という記事で載ったほどでした。

捨松が帰国した半年後に鹿鳴館が完成しました。当時の政治家夫人は花柳界出身が多く、洋装が似合わなくダンスも外国語も全く駄目でした。美人でダンスがうまく、しかも英語・フランス語・ドイツ語を流暢に話す捨松は大変見栄えがして人目を引きました。薩摩出身で西郷隆盛の従弟である大山巖伯爵・陸軍卿のプロポーズを受け、大山伯爵夫人となり「鹿鳴館の花」と謳われるほどになりました。

一緒に渡米した津田梅子が明治 33 年に女子英語塾 (後の津田塾大学) を開くと、これに協力していた彼女は顧問になり、明治の女子教育にも大きく貢献しました。また捨松は、幼いころ会津戦争で鶴ヶ城に籠城していたとき女性たちが負傷兵の看護をしていたのを見ていたことから、日露戦争中は日赤篤志看護婦人会理事として積極的に救護活動を行い、アメリカからも募金を集めました。捨松を取材にきた外国人記者に対して、見事なフランス語で答えたので相手が仰天したというエピソードが残っています。さすが会津切っ手の名門、山川兄弟の妹ですね。

幹事報告

- 1・ガバナーエレクト 中村博亘様より
09-10 年度国際ロータリーのテーマ 受領
- 2・ロータリー米山記念奨学会より
確定申告用領収証送付の件 受領
- 3・千葉科学大学より
学位記授与式のご案内 受領
- 4・銚子商工会議所より
新春講演会の結果送付について・実績報告書提出
について 受領
- 5・例会変更のお知らせ
銚子 RC より
2/11(水) 休会 建国記念日の為 受領
☆週報受領 銚子 RC

卓話

「年男の挨拶～本年の抱負～」

加瀬 武男 会員

プログラム委員長の平野さんから年男として卓話する様要請されましたので、お話をさせて頂きます。

間もなく 84 歳の誕生日を迎えます。築 135 年の母屋で 1 人で、暮らしております。今回このような機会を与えて頂きましたので、私を育てられた故里の思い出から顧みたいと思います。

大正 14 年 4 月 9 日海上郡高神村高神屋号加瀬庄左エ門の次男として生をうけました。近くに高神村役場や渡海神社があり、部落の北東に天台宗賢徳寺と真言宗智山派高福寺の 2ヶ寺があります。少し離れた東側に海拔 73.6 米下総一の愛宕山があります。山頂には木造の展望台がありましたが、老朽化しコンクリートで一回り大きな展望台に建替えられま



した。その頃山道も整備された様です。愛宕山の南側下に高神尋常高等小学校があり、小学生6年迄と高等科2年迄の学校でした。

南へ徒歩10分位の處に犬若の部落があり、義経伝説の千騎ヶ岩や犬岩があります。犬岩近くの高台に90年位前に旅館があったそうです。犬若海岸は遠浅で波が穏やかなので、夏は海水客で賑わい、海岸近くの民家には避暑客も見られました。

私は海岸線に近く気候に恵まれた土地から高神小学校へ6年通い義務教育を終えて、友人数名と県立銚子商業学校へ進みました。卒業は5年生の12月に繰上卒業となりました。男子は兵役の義務があり、満20才で徴兵検査を受け、兵役適否の身体身上の検査がありました。私は甲種合格となり、翌年(昭和20年)5月佐倉歩兵57連隊へ入隊しました。昭和19年にはB29により本土爆撃がありましたので、殆んど防空壕掘りでした。しかし近郷農家の田植えの農繁期には二人一組となって援農に行きました。昭和20年8月初めに東京へ治安警備に派遣され、東京で終戦となり、9月に除隊になりました。短い軍隊生活でしたが、私にとっては心身共に鍛えられ貴重な体験をしました。兄は千葉師範学校を卒業後市内の小学校へ赴任しましたが、1年足らずで現役で出征し、ガム島で戦士しました。

私は戦後の社会情勢や周囲の環境から、馴れない農業を親戚や知人の協力で始めました。当時畑作はさつま芋と麦類の作付けが主体でした。第2次大戦後の民主的改革の一環として、農地改革が行われた。不在地主の全所有地と、在村地主の貸付地のうち、都道府県で1町歩、北海道で4町歩を超える分とを、国が地主から強制的に買収して小作人に売り渡した。この結果、地主階級は消滅し、旧小作農の経営状態が著しく改善された。

銚子キャベツの発祥地は高神地区で、昭和28年頃から始まりました。昭和32年に「灯台印」銚子蔬菜出荷連合会が結成され、集団栽培の第一歩が踏み出された。

昭和40年頃から20余年旅館を兼業した。平成3年11月に友人田原元会員の紹介で当クラブに入会させて頂きました。平成4年5月、入会当初より兄の友人でパスト会長の溝口先生始め、会員の方々から清墨会へ入会を勧められていたので入会しました。当時は銚子クラブの会員が2、3名おりましたので、火水の例会後、月2回清水翠峰先生の指導を受け、書を楽しみました。しかし一時は会員が3名までになりましたが、一昨年10名入会者があり賑やかになりました。新入会員は第1例会後、佐藤港月先生の指導を受け、順調に昇級している様です。

故里は時代に応じて整備され、時の流れを感じます。本年も健康管理に務め、例会には皆出席し、趣味の書道を楽しみたいと思います。今後共宜敷く御願ひします。有難うございました。

2月 世界理解月間

2月はロータリーの暦の上でたいへん特別な月です、というのはこの月は「世界理解月間」として指定されているからです。この月には1905年2月23日に開催された第一回ロータリー例会の創立記念日(現在は「世界理解と平和の日」と呼んでいます)もあります。

「世界理解月間」を指定するにあたり、国際ロータリー理事会は全てのロータリー・クラブがその毎週の例会のためのプログラムを組んで世界平和のために大切な理解と善意を強調する特別活動を行うよう懇請いたします。この特別月間を実施するために、多くのクラブは国際的な講演者の招請、学校、大学から交換学生や国際的な学者をクラブ例会に招待、以前、受入れた研究グループ交換のチーム・メンバーを特集するようなプログラムの作成、国際問題の討論の計画、国際的な文化芸術を主題にした催しものの提供、そして国際色を強調したその他のプログラムの計画作成等々を行います。

多くのクラブはこの機会を利用して国際社会への奉仕活動を始めたり、他の国のロータリー・クラブとの接触を行ったりします。ロータリー友情交換、3-Hプロジェクトを始めたり、あるいは、ポリオ・プラス、その他のロータリー財団の各種プログラムの援助を奨励するのに好適な月間です。

世界理解月間は、すべてのクラブが一時手を休めて、第四奉仕部門、即ちロータリーが世界の人々の間の善意、平和および理解をずっと求め続けていく奉仕の道、のプランを立て促進する好機です。

『ロータリージャパン』ホームページ情報

1月18～25日にアメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで開催された国際協議会のレポートを掲載しています。新年度の国際ロータリー



テーマのロゴ、各本会議の写真やスピーチの要約のほか、各地区ガバナーエレクト夫妻の様子も写真で紹介。今後も随時、情報を追加していきます。詳細は『ロータリージャパン』の日本語ホームページ

<http://www.rotary.or.jp/contents.html>

からご覧ください。

——ニコニコ——

網中吉郎会長・石井哲也幹事

先週の当クラブ担当の合同例会、無事終わりました。ご協力ありがとうございました。IMも宜しくお願い致します。

中西廣君

連れ合いのことで恐縮ですが、この度、日本七宝作家協会国際展への出品作品が、造幣局理事長賞を受賞しました。上野東京都美術館にて1/29から1週間開催されます。亭主の協力あっての結果と思っております。

『友』インターネット速報

2009年1月19日 No. 365

2009-10年度国際ロータリーテーマ発表

2009年国際協議会が、アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで始まり、1月19日午前9時から開会本会議で、ジョン・ケニー国際ロータリー(RI)会長エレクトから2009-10年度RIテーマが発表されました。

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS
ロータリーの未来はあなたの手の中に



2009年1月27日 No. 366

ゲイツ財団がポリオ撲滅に新たな補助金

世界的なポリオ撲滅活動に充てるため、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から国際ロータリー(RI)に対し新たに2億5,500万ドルの補助金が寄せられました。野生ポリオウイルスが現存す

る4か国(アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタン)のガバナーエレクトとの会合を終えたビル・ゲイツ氏は、サンディエゴ国際協議会の本会議で、新たな補助金の提供を発表。「ポリオウイルスの完全な根絶は難しく、今後も難を極めることでしょう。撲滅という目標に私自身が深くかかわるようになったのは、撲滅を目指して努力を傾けるロータリーのひたむきな姿に深い感動を覚えたことが大きな理由です」と述べました。

今回受領した補助金は、ロータリー創設以来104年の歴史において最も高額なものです。2007年11月にも、ロータリーが同額を集めることを条件にゲイツ財団から1億ドルの補助金を受領していましたが、今回、募金の上乗せを条件に新たな補助金を受けたことで、RIはさらに1億ドルの募金を目標に掲げ、「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」と銘打って、2012年6月30日までに上乗せ資金を調達していくことになります。

ロータリーは既に約7,300万ドル(うち現金寄付6,200万ドル、誓約1,100万ドル)を集めています。各クラブには今後3年間、一般の人々を対象に募金活動を実施するよう奨励しています。

前回の例会(1/27)報告

点 鐘 網中 吉郎 会長

出席報告

会員総数	37名	出席規定除外数	8名
出席者	22名	出席率	75.86%
1月13日		確定出席率	82.76%

来訪ロータリアン

なし

欠席者

7名

メイクアップ

なし

スモールコインBOX

小計 ¥ 2,382-

累計 ¥ 47,879-

ニコニコBOX

小計 ¥ 35,700-

累計 ¥ 411,450-

銚子東ロータリー・クラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 網中吉郎 副会長 狩野 勉 幹事 石井哲也

R. I 第2790地区

クラブ広報・会報委員会 川津光雄・田杭啓信・山口廣雄・大木 忠・杉浦 武

表紙題字 網中喜一郎初代会長

ほととぎす 銚子は国の とっぱずれ

古帳庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦(古帳庵 古帳女)が銚子に遊んだときに詠んだもので、この碑は圓福(円福)寺に現存する。